

令和3年度 全国学力・学習状況調査
和光市教育委員会調査結果概要

◆児童質問紙調査(抜粋、肯定的な項目2項目の合計)

回答率(単位%)

質問事項	和光市	埼玉県	全国
1 朝食を毎日食べている	94.3	95.5	94.9
2 自分には、よいところがあると思う	75.4	78.0	76.9
3 将来の夢や目標を持っている	77.5	81.4	80.3
4 家で、自分で計画を立てて勉強をしている	71.0	76.1	74.0
5 学校に行くのは楽しいと思う	76.8	83.2	83.4
6 人の役に立つ人間になりたいと思う	95.2	94.9	95.5
7 国語の勉強は好きだ	54.5	57.9	58.4
8 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	93.2	91.6	91.8
9 算数の勉強は好きだ	64.3	66.8	67.8
10 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	89.5	92.4	92.6
11 5年生までに受けた授業の中では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う。	77.0	81.9	78.2
12 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う。	67.1	69.8	63.5
13 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。	79.2	82.9	78.8
14 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） ※2時間以上と答えた児童の割合	32.0	29.1	26.9

2【自分には、よいところがあると思う】、【将来の夢や目標を持っている】という質問について
●肯定的に回答した児童の割合がそれぞれ80%を切っており、全国平均、県平均ともに下回っている。
→家庭とも連携を図りながら、成功体験により自己肯定感を高められるような取組を行い、自分のよさを理解し、将来の夢や目標を実現にむけて努力できるよう、児童の支援を行っていく必要がある。

4【家で、自分で計画を立てて勉強をしている】という質問について
●肯定的に回答した児童の割合が80%を切っており、全国平均、県平均ともに下回っている。
→家庭での生活や学習の習慣化は、学力の定着や向上にもつながることから、引き続き家庭との連携を図る取組を充実していく必要がある。

5【学校に行くことが楽しいと思う】という質問について
●肯定的に回答した児童の割合が80%を切っており、全国平均、県平均ともに下回っている。
→児童同士の人間関係や授業を通して、学校生活が楽しいと思えるような学級経営、授業改善を図っていく必要がある。

7【国語の勉強は好きだ】、8【国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ】、9【算数の勉強は好きだ】、10【算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ】という質問について
○国語については、「役に立つ」と回答した児童の割合が90%を超えており、全国平均、県平均ともに上回っている。
○算数については、全国平均、県平均を下回っているものの、90%近くの児童が「約に立つ」と回答している。
●いずれの教科も「好き」と回答した児童の割合が70%を切っており、全国平均、県平均をともに下回っている。
→主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図り、児童にとって魅力ある授業づくりをしていく必要がある。

11【課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う】という質問について
●肯定的に回答した児童が80%を切っており、全国平均、県平均ともに下回っている。
→児童一人一人が主体的に学習に取り組めるよう、課題設定を工夫するなどの授業改善をしていく必要がある。

14【学校の授業時間以外の勉強時間】について
○2時間以上の児童の割合が、全国平均、県平均ともに上回っている。
→家庭学習等による知識・技能の定着に関する効果が大きいと考えられる。今後も家庭と連携して、学力の向上を図っていく必要がある。